

魅力の発見

# Discovery of charm

～新たな1歩、明るい未来のために熱い情熱をもって～

JCI 一般社団法人府中青年会議所  
Junior Chamber International Fuchu

# No.500

# JC NEWS

## Index

- ・9月例会
- ・第45回広島ブロック大会
- ・第64回全国大会東北八戸大会
- ・青少年事業
- ・10月例会
- ・第40回J C旗争奪少年野球大会
- ・仮入会員セミナー
- ・3分間スピーチ
- ・JCI世界会議
- ・11月例会
- ・12月例会
- ・新入会員紹介
- ・卒業生インタビュー

一般社団法人  
府中青年会議所  
広島県府中市元町 445-1

0847-45-2648

<http://www.fuchu.or.jp/>

~fuchujc/

9月担当例会 人間力向上研修事業「自分自身を成長させるコツ 社会人基礎力セミナー」



人間力開発委員会委員長の田辺です。9月の担当例会で、「社会人基礎力セミナー」を開催させていただきました。越智昌彦氏を講師に迎えました。氏は、経産省が提唱した「社会人基礎力の向上」を体系化し、診断テストを構築されました。

では、社会人基礎力とはなんのでしょうか。一般的には、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から構成される、「職場や地域社会で多様な人々と仕事していくために必要な基礎的な力」と言われています。今回のセミナーではその3つの力がどのように、自分達の中にあるのか診断し、自己を見つめ直すことで、日々の改善につなげる目標を持っていただけるようにしました。ウィークポイントの改善の一助となるのではないのでしょうか。

また、府中青年会議所会員の平均としまして、12の要素の内『発信力』が最低点でした。

会の課題としまして、より皆様に情報を発信していかなければならないと課題も見つかりました。

個人的にも、診断テストの結果を真摯に受け止め、日々の改善につなげていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。



## 第45回広島ブロック大会：セクレタリー 北川慶祐君

9月13日（日）に尾道にて第45回ブロック大会が開催されました。府中青年会議所からは18名が参加しました。

本年度は、府中青年会議所からブロック会長として森山直洋君が出向しております。大会式典のブロック会長挨拶では、『復古創新』をスローガンに、構想力、行動力、人間力をもとに、伝統にとらわれない青年会議所運動を行なっていきましょう。という身の引き締まる名スピーチをしていただきました。



一般公開で開催された「地域活性化からいち」には府中市から『みんちゅー』も参加し、府中市のPRを行なっていただきました。

大懇親会では山本モナさんとアンガールズのお二人がゲストとしてご登壇されたり、LOM 対抗腕相撲大会が開催されたりとおおいに盛り上がり、卒業式では感動的な送辞が送られ、大変良い大懇親会でした。

本年度は卒業生お三方ともにブロック協議会でご活躍されている事もあり、大変感慨深いブロック大会となりました。





## 第 64 回全国大会東北八戸大会：セクレタリー 北川慶祐君

9月24日（木）から27日（日）までの4日間青森県の八戸にて第64回全国大会東北八戸大会が開催されました。

遠方でしたが府中青年会議所からは10名が参加しました。八戸大会は15年間の誘致活動の末開催されたそうです。まち全体が「ようこそ八戸へ」という歓迎ムードの中開催され、まさに「まちぐるみ」の全国大会でした。



26日（土）の夜に仙台で開催されたロムナイト二次会では理事長経験者でもあります卒業生3名からそれぞれお言葉を頂きました。普段話す機会の少ないメンバーとも語り合う事ができ、とても楽しい全国大会でした。

2016年度の全国大会は広島青年会議所主管で開催され、府中青年会議所も副主管となります。全国大会には全国からたくさんの方が来られます。全国大会で良い思い出を持って帰って頂く事は地域への良いイメージにも繋がると思いますので、皆様、副主管LOMとして次年度全国大会を盛り上げていきましょう。





## 「FUCHU JC STREET DANCE FESTIVAL in HATAKAKO」



青少年育成事業として、10月4日（日）に羽高湖森林公園にて湖畔フェスティバルと同時開催いたしました。当日は、17チーム合計121人というたくさん子ども達の参加となりました。

特別企画でもありましたダンス未経験者の中学生・高校生9名のJC特別チームは5ヶ月間の練習を終え、無事に晴れ舞台に立つことができました。



また、各チームのダンスパフォーマンス終了後に、審査員講師によるダンス教室を開催し、EXILEの「Choo Choo TRAIN」を全員で踊り大変盛り上がりしました。一般参加チームの子ども達には日頃の練習の成果を発揮する場となり、舞台に立つ喜びや緊張感等も経験してもらえたと思います。そして未経験者特別チームの子ども達も同じで、さらに初めて習うダンスによって新しい自分に気付き、実際にダンス教室に通うきっかけにもなりました。またダンスを通して、日々頑張った達成感を感じてもらうことができました。何より当日の子ども達の生き活きとした笑顔を見てこの事業を行って良かったと感じました。

ストリートダンスは今の旬であり、発表する場の提供、努力が認められ賞がもらえることは、ニーズがありま

すので、機会があれば、今後も継続していけば良いと思っております。

今回、府中、福山、尾道から子ども達・チームが参加し、広く府中JCをPRできたのではないかと思います。



## 10月例会報告：府中のまつり共創委員会委員長 浅野正裕君

10月13日（火）商工会議所1Fホールにて「府中のまつり共創会議2015」と題し担当例会を開催させて頂きました。趣旨としましては、市役所・商工会議所より備後国府まつり担当者に出席して頂き、パネルディスカッション形式でJCメンバーと共に本年度のまつりの検証及び次年度の構想についての意見交換を行い、今後の備後国府まつりを発展させる一助とするべく開催致しました。

パネルディスカッション参加者は、市役所より「岡信洋氏」商工会議所より「有永篤氏」、府中JCからはMC「森山直洋」、パネリスト「本年度委員長 浅野正裕」「次年度委員長予定者 蛎田大悟」というメンバーで行いました。

第一部は「本年度の備後国府まつり検証」という事で、来場者数の報告や本年度の新たな取組等について意見交換を交えながら行いました。多くの有意義な意見を頂く事が出来ました。本年度の備後国府まつりも大変盛り上がった良いまつりでしたが、今後の課題も色々出て参りました。その中で



も次年度への大きな課題としまして「まつり全体の開催範囲、会場の使用方法の再考」「市外からの来



場者への案内の充実」があげられました。理由としましては、「開催範囲が広すぎて全体を周る事が難しい」「会場がバラバラになっていて魅力が分散している」「府中駅から会場までどう行けばよいかわからない」等の意見が一般来場者からも多くあった為です。

第二部は「次年度備後国府まつりの構想」ということで次年度委員長予定者蛎田君の想いや企画構想について意見交換致しました。次年度の構想ですが、2016年に蛎田君より皆様へ報告されると思いますので楽しみにお待ちください。

JCニュースを御覧になって頂いております多くの皆様におかれましては、本年度「備後国府まつり」への多大なる御協力賜り有難うございました。改めてお礼申し上げます。





## 第 40 回 J C 旗争奪少年野球大会事業報告：学び発見委員会副委員長 福田竜也君

本年度も第 40 回 J C 旗争奪少年野球大会が開催されました。今回は第 40 回の記念大会ということで 10 月 17 日に中須グラウンドにて準々決勝まで行われ、11 月 15 日に準決勝を三次きんさいスタジアムで行いました。2 日間とも天候に恵まれ絶好のコンディションの中、熱戦が繰り広げられました。



中須グラウンドで行われた 1 回戦から子ども達は皆、全カブレイで大変素晴らしい試合を繰り広げました。また、三次きんさいスタジアムで行われた準決勝は特に高いレベルの試合となり、どの試合も素晴らしい試合となり、子ども達にとっても貴重な経験と思い出ができたのではないかと思います。

この J C 旗争奪少年野球大会は 6 年生にとっては最後の大会ということで、子ども達にとって貴重な大会であり、40 回と続いてきたことに改めて意義を感じることもできる記念大会になったと思います。また、今大会を開催するにあたりご尽力頂いた府中市少年軟式野球連盟、芦品少年軟式野球連盟、チーム関係者、保護者の皆さまには心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



去る10月19日に本年度2回目となる仮入会員セミナーを開催させて頂きました。

5名の仮入会員に参加して頂き、入会後の活動をより充実したものとさせて頂くべく、JC活動を行う上で必要となる基礎知識を解り易く伝える事を旨として座学を行いました。

5月度開催時よりスライド資料や動画を多く作成し、視覚的に分り易い内容になるよう工夫致しました。



また現役メンバーとの交流を深めて頂く為、ドッジビーというスポーツを行いました。共に体を動かし汗を流すことで、参加者全員との一体感を感じて頂けたと思います。

理事メンバーを初めとした会員の皆様には、多くのご参加ご協力を賜り、無事に事業を終えることが出来ましたことを感謝申し上げます。誠に有り難うございました。

次年度仮入会員セミナーでも、多くの仮入会員と共により良い時間を共有できるよう、会員拡大にも務めて参ります。この記事をご覧になって頂いております皆様におかれましても、引き続きご協力を賜りますようお願い致します。





### 3分間スピーチ報告：人間力開発委員会委員長 田辺貴慶君

人間力開発委員会委員長の田辺です。3分間スピーチを開催いたしました。

今年度の3分間スピーチのテーマは「わたくしごとですが、〇〇だったとさ」というテーマで行いました。

人前で上手にスピーチをするためには、まず話をするネタを探す事であり、ネタは日常生活を始めとするいろいろなところにあります。



自分の身近に起きたことについて臨場感を持ってスピーチいただくことが、スピーカーにとっても聞き手にとってもより良いスピーチとなると考えました。

スピーカーの皆様には、興味深くとても面白いスピーチをいただきました。

3分間という間だけでは、聞き足りないもっと聞きたいという話も多かったです。

スピーチ終了後に話として盛り上がるなど会員間の親睦にもつながったのではないかと思います。

スピーカーの皆様、本当にありがとうございました。

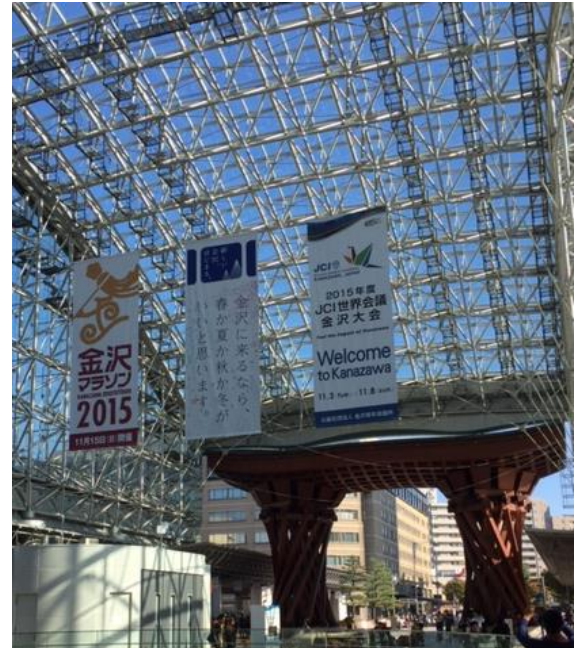
私自身はあがり症であり、人前で話をする事が大の苦手ですが、立派でなくてもいいので聞き手に対し思いが伝わるスピーカーを目指して頑張りたいと思いました。

## JCI 世界会議 金沢大会：専務理事 一色浩徳君

11月3日（火）～11月8日（日）に金沢にて今年度、テーマ「Feel the impact of Kanazawa」のもと、第70回 JCI 世界会議が開催され、府中青年会議所からも5名のメンバーで参加しました。

また、今年 2015 年は、国際青年会議所の運動が始まってから 100 周年の記念の年でもあり、2010 年大阪世界会議開催から 5 年が経っての石川県の金沢の地で開催でした。

世界会議では、総会をはじめとする様々なファンクションにも参加させていただきました。日本の魅力を最大限に世界へ発信するジャパンナイトに参加したときは、多くの外国人の方が日本の文化、食に興味を示していたことが印象的でした。



ーが集まる、このような機会に触れ合い、交流することだけでも刺激的な大会であり、LOM メンバーにも今後多くの大会に参加していただきたいと思いました。参加することにより、メンバーの心になにかを残してくれることだろうと思いますし、またそれを伝えていくことが、府中青年会議所の底上げにも繋がり、府中のまちの発展のためにもなることでしょう。



今回私が感じたことは、世界会議での国境を越えて有益な情報交換や相互文化理解は、グローバル社会を生きる私たちにとって、民間外交の最高の機会だと思いました。そして、何と言っても世界中から意識の高いメンバ



全国大会とは全然違う世界会議の雰囲気や堪能できたことは、私にとって貴重な体験でした。多くの経験が必ず自分自身の糧になることとしますので、是非機会を逃さず参加していただきたいと思います。



## 11 月担当例会 人間力向上研修事業

### 「新たな魅力の発見が次の一步を生む～助成金&補助金のしくみを学ぶセミナー③」の開催

11 月の担当例会では、「助成金 & 補助金のしくみを学ぶセミナー③」と題して、2 月 5 月と学んできたことのまとめとしまして、小川治孝氏を講師にお招きしました。

先生の数々の助成金・補助金を活用した事業を会の皆様にご紹介できました。新たな事業の創造へ向けて活力になったのではないのでしょうか。

先生の補助金を活用された事業を紹介させていただきますと、お米を通して、農家と企業を結ぶ『スマイル 10 アール』事業をされています。地域の活性化と発展が自社の発展につながるという信念でされています。



これは、青年会議所活動にもつながるものではないのでしょうか、私たちも地域の活性化に向けより一層頑張っていかなければならないと考えさせられました。

全体像のはっきりした事業に対して、一体何のために、補助金・助成金を活用するのか、そこがきちんとしていれば、助成金・補助金の申請もとりやすくなりますし、事業も成功すると思いました。先生のこれから申請する事業に対して、絶対に補助金の申請が通るのでという言葉には、事業計画を練ってきたことに対する絶対の自信と、新規に事業を起こすには、その事業に対する自信がなければならぬことを改めて思いました。

一つ一つの新規事業が、地域全体の活性化につながると思います。これからも頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

## 12月例会報告：人間力開発委員会委員長 田辺貴慶君

本年度最後の例会となる12月卒業式・忘年例会が12月12日（土）に府中文化センターで開催されました。

例年より会場をあらため、府中文化センターで行いました。会場設営・進行など分からないことが多く、委員会メンバーなくして、成り立たない例会でした。



藤本副理事長をはじめ、委員会の皆様、ありがとうございました。また、12月例会にあたり、3名の理事長経験者の最後のJC活動となりました。JC活動にご尽力され、府中青年会議所を支えてこられた卒業生の皆様でした。

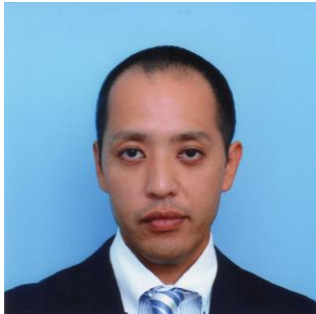
最後まで、現役メンバーを気にかけて、卒業式の中でも、現役メンバーに向けあたたかいお言葉を頂戴しました。いただいたお言葉を糧にしていかなければならないと改めて思いました。また懇親会では、多くの特別会員の方も卒業生のために来てくださり、忘年例会らしい楽しい雰囲気になりました。最後の事業ということで、今年一年を振り返るにあたり、私のいたらなさでご迷惑ばかりおかけしました。

特別会員の皆様、現役会員の皆様、本当に今年一年最後までありがとうございました。皆様の暖かさが身にしみる一年となりました。改めて感謝申し上げます。卒業生の皆様、今後、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。





## 新入会員紹介



いそだ いちろう  
**磯田 一郎**

会社名：株式会社 北川鉄工所

正スポンサー：北川慶祐

副スポンサー：櫻木正彦

数年前に府中市へ戻ってきて感じたことですが、活気がなくなったような気がしています。府中青年会議所での活動を通して少しでも府中市へ貢献し活気のある町へと変化してく手伝いができるよう、全力で取り組んでいこうと思います。

今年 37 歳となり、3 年間という非常に短い期間での入会となります。最初 JC 入会のお話を頂いたときは年齢的なこともあり迷いましたが、府中 JC での活動が府中市への貢献だけでなく自分自身の成長の場として非常に有意義な場となると考え入会させて頂きました。

ただ、本当に有意義な場となるかは自身の行動したいだと思いますので、何事も勉強だと思い様々な活動に取り組んでいこうと思っています。

まだまだ、わからないことも多く周りの皆様へはご迷惑かけることが多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



まなべ たかまさ  
**真邊 崇正**

会社名：真辺工業 株式会社

正スポンサー：平慶一郎

副スポンサー：北川慶祐

この度、双子の弟である康史と共に入会させていただきました。

私は、大学・社会人を通して、10年間の時間を大阪・東京という大都市で過ごしました。

そして10年ぶりに帰ってきた府中で感じることは、「やっぱり故郷である府中がいいなあ」という思いでした。自分にとって大切な故郷「府中」を、次の世代へ残していくために、府中JCでの活動を通して少しでも貢献したいと考えております。

まだ、府中JCに入会させていただいたばかりで、右も左もわかりません。どうぞご指導・ご鞭撻いただけます様、よろしくお願いいたします。



まなべ やすし  
**真邊 康史**

会社名：真辺工業 株式会社

正スポンサー：浅野正裕

副スポンサー：蛎田大悟

私がこの府中青年会議所に入会したいと思いましたが、普段の仕事では知り合うことが出来ない異業種の方と知り合いたいと思う気持ちと、生まれ育ったこの府中の街に少しでも貢献したいという気持ちから入会させて頂きました。

これから府中青年会議所の一員として諸先輩方に教わりながら、色々な経験をさせて頂く中で私自身の成長と幼少期から住み続けているこの街に少しでも恩返し出来るようにがんばらせて頂きます。まだ何も分からない私ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



さこた たくみ  
**迫田 拓海**

事業所：トータス

正スポンサー：福田竜也

副スポンサー：浅野正裕

この度、府中青年会議所に所属させて頂くことになりました、迫田拓海です。

私は、特別な志や信念と呼べる程のものを持たず、さらには明確な目標も無いまま仮入会をしました。そして、それらは正会員として府中青年会議所の一員となった今でも、はっきりと自分の中に見つけだすことが出来ていません。

地元地域への貢献や自身の成長など、目的意識を持っていない今の自分に出来る事があるのかと迷いながら、先輩達の遥か後ろのスタートラインに立っていますが、それでも私は、ここから、J C生活を始める事にしました。

至らない点やご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ご指導頂ければと思います。よろしくお願いします。





もんでん かずや  
**門田 和也**

事業所：医療法人 門田歯科医院

正スポンサー：高月龍樹

副スポンサー：浅野裕子

高校を卒業し府中を離れ今春に十数年ぶりに戻ってきました。この十数年の間にも新たに店舗ができ、あったはずのお店が姿を消したりと、街が変わっています。そこで一社会人として府中の歴史や現状をよく知り、少しでも良い街にしていきたいと思い府中青年会議所に入会させて頂きました。

また府中 JC を通し様々な業種の方と交流させていただき事で自分自身の成長にも繋がればと思っています。地元地域に少しでも貢献できるよう努めて参りますので何卒よろしくお願い致します。



さとう たくや  
**佐藤 卓弥**

事業所：株式会社 北川鉄工所

正スポンサー：櫻木正彦

副スポンサー：北川慶祐

まだ仮入会員という形ではありますが、JC の様々な活動に参加させていただいて自分の今のレベルを知るとともに、良い刺激をいただいております。現状分からない事だらけで悪戦苦闘していますが、これを自己を高めるチャンスと捉えて様々な事に挑んで行きたいと思っています。そして、私自身が自分の人生の目標として掲げている生進不尽<せいしんふじん>という言葉に胸に日々成長していきます。この言葉は自分を高める為に自分で作った言葉です。言葉の意味としては、生きている内は進化し続けると言う事です。自分の人生の目標に近づけるように、進化し続け府中の街に貢献していこうと思います。

色々至らぬ点もあるかと思いますが、ご指導をよろしくお願い致します。



うの たかよし  
**宇野 崇能**

事業所：大一車輛興行 株式会社

正スポンサー：高月龍樹

副スポンサー：福田竜也

J C に入り様々な人との交流を交わして視点を変えた見方や考え方を学んでいきたいと思っています。J C 活動を通して地域貢献し多くのことを学び、私自身も成長出来ればと思っています。

まだまだ未熟者ですがご指導のほど宜しくお願いします。



## 坂本 充

第 53 代 理事長

2005 年 7 月 入会

インタビュアー：副理事長 山岡洋平

### ☆JC 在籍中の印象に残っている事業は何ですか？

【山岡】 山岡です。本日は卒業生インタビューということでお忙しい中お時間を空けていただき誠にありがとうございます。早速ではございますが、これまで数々の事業と正副会議、理事会議、委員会、ブロック出向とこなされてきた坂本卒業生ですが JC 在籍中の最も印象に残っている事業って何でしょうか。

【坂本】 私の JC 生活はね…。ほんと茨の道でしたよ。昔は今と比べて、委員会数も事業数も多かったしね。その中でもやっぱり印象に残ってる事業といえば、委員長した時の 5 月に開催した府中 JC 初のまちづくりフォーラムの公開事業じゃね。

【山岡】 初を坂本卒業生がされたんですか？

【坂本】 ほおよお。今まで開催した事のない初めての公開事業ってことで事業を組み立てる中で…まあ…とにかたたかかれたよ。ほんま、しびれたよ。ほんと辛かったけど結果すっげえ楽しかったけどね。

食事中に当時の理事長から「やるんか？」って言われて「やる！」って思いっきり啖呵切って言ったし、自分の想いも本当に詰まっていたからね。事業当日も文化センター中ホールで 191 名もの参加者が来てくれたんよ。いじめについての事業だったんだけど、引きこもりの子どもが事業を聞いてその後、実際学校へ行けたって聞いたときはね。ほんま、すっげえ嬉しかったよ！ほんまやって良かったと思ったよ！

実はアワードに出さないか？って依頼もあった事業なんよ！

あとはスポーツフェスタの一環で木の折鶴したときはしんどい思いしたなあ。完成後広島市に持って行ったけど何年か後にテレビに映ったしね。色々あったけど、やっぱり自分が委員長したときの事業が一番印象に残ってるね。山岡君も委員長したときの事業じゃないん。



【山岡】 何をするにしてもですが、初は本当に何から何まで一つひとつ手探りで一番しんどいですよね。僕のとときはそうですね…。違いますこの度は卒業インタビューです。次に坂本卒業生は LOM、ブロックと数々の役をお受けになられておられますが、その中で心に残っている役職は何ですか？



### ☆数々の役を受けた中で心に残っている役職は何ですか？

【坂本】 一つ目は、委員長だね。本当に強い情熱があれば「自分の想いをかたちに出せる」側を巻き込むことや問題定義するのは JC で僕の想いは全てかたちにしてたよ。委員長としてまちづくりの柱を作りたいかったしね。

二つ目は、理事長だね。委員長の実行したい事業を何とか成功させちゃらんといけんってね。「委員長の頑張りの共感と想いが共有出来る」かな。色んな面で自分のキャパシティーは確実に広がる役職じゃね。

もうひとつ伝えさせてもらえれば、ブロックの副会長だね。時間さえ何とかできれば「一生涯の友達ができる」受け持った委員会とかだね。

【山岡】 ですよんえ。僕も委員長の時、熱い情熱で活動しましたね。当時は坂本副理事長として思いつきおんぶにだっこしてもらってありがとうございます。自分は経験した事のない役職が二つも出てきましたが、理事長職はほんと坂本卒業生のおっしゃる通りなのでしょうね。ブロックでは委員会出向で僕もそういった方が何名か出来ましたね。

【坂本】 じゃあろおつ！何でもがめぐり会いとタイミングなんよ！

【山岡】 ですよん。本当にそう思います。それでは最後になりますが、坂本卒業生にとっての JC 生活を一言でまとめると！

### ☆坂本卒業生にとっての JC 生活を一言でまとめると

【坂本】 最初にも言ったけど、本当に茨の道でした。自分のキャパシティーを大きくしていくために様々な役を経験してきました。その中で古きよき精神も大切です。広さや深さはあるだろうけど、自身の心を育て、どう携わるか、「自分の情熱次第」これが全てです！！

【山岡】 坂本卒業生の熱い情熱で想いをお聞かせいただき、本当にありがとうございます。

本年度の想いの引継ぎも LOM 内で出来ております。これからは OB として熱い情熱で我々現役を叱咤激励してってください。





# 北川 浩一郎

第51代 理事長

2003年9月 入会

インタビュアー：副理事長 藤本英一郎

## ☆入会当初の思い出は？

【北川】 当時はサラリーマンだったので、JC 活動の不安といえば活動時間が取れるかということで、活動後に会社に戻るなど、仕事との両立に苦労した思い出があります。ただ、それでも務め、責任は果たして来られたし、よい経験だったと思う。JC 活動には特に戸惑いは無く、当時の先輩方のスピーチ力、立ち振る舞いなど経営者、リーダーのすごさを感じていたし、目標に思っていました。

## ☆JC 活動で思い出に残った事業は？

【北川】 専務理事を務めた 2011 年。年当初に計画していなかった事業の運営、特に震災復興事業が思い出に残る。震災直後に、誰にでもできる復興支援という事で、資源ゴミを市民・企業から集め、義援金に変える事業を行いました。この時のメンバーのまとまり、一体感をほんとうに素晴らしかった、府中青年会議所がひとつの目的のためにまとまって、一生懸命動いた、とてもよい活動だったと思います。この活動で得たまとまりが、この年府中主管で行ったブロック大会へメンバーの一体感へつながったと思います。その後の、まだ震災 2 カ月後の岩手県大槌町にいて、中華丼の炊き出しをおこなったことも、様々な人の協力を得て、迅速に行動できた、混乱する現地との折衝等、難しい部分はあったが、復興の小さな一助になれたと思う。11 月の専務担当例会での活動報告も含め、専務をしている時の、この一連の震災に関する事業は、ほんとに印象に残っています。





## ☆いろいろな役職を担当されてこられました、思い出に残った役職は？

【北川】 ほぼ毎年何かの役職を務めていたなかで、さきほど話した専務理事はもちろんですが、その他どれも思い出に残っています。

2013年に努めた理事長は、一番楽しい一年でした。入会から自分が培ってきたものを、思う存分発揮できたと思う。会の運営面でしっかりと澤田専務が支えてくれたことも大きかったです。副理事長や委員長たちも力を発揮してくれました。多少のプレッシャーもあったが、一年間、自分の思いをメンバーに伝えることができたし、当時の役員とも思いを共有することができ、50周年の大きな節目の一年をリードして行くことができました。50周年の年の理事長は自分しかいなかったと自信を持って言えます。

勉強になったのが2007年のブロック総務広報委員長。入会4年目でJC活動の厳しさを知りました。府中以外には色んな人がいるんだとも感じましたし、事業をやるにあたって、自分がどれだけ自信をもって臨んでいるか、甘えが許されないと試される機会が多かったが、それらを乗り越えていくことで、自分はできるということを確認させていただいた。また当時の桑木先輩や児玉先輩をはじめとするブロック運営団のそばで色んな事を経験させていただいた事が、今年の運営専務でのブロック運営に大きく役に立ちました。

2014年備フェス作戦本部長も特に思い出深いし、充実感を感じました。理事長をやった次の年で当初は、声を掛けられたときに驚いたが、メンバーのほとんどが、新入会員の後輩メンバーで、祭りを経験して、事業を組み立てていくこと、そして達成感をあじわってもらうことを念頭に置き、彼らを育てる事を目標にしました。皆、打てば響き、行動してくれました。次代のメンバーによい引継ぎができたと思う。また当時のメンバーが今年の祭りの委員長をして、すばらしい実績を残してくれたことが本当にうれしかった。

## ☆ご自身がJC活動でテーマとしていたこと

【北川】 JCの活動は様々な個性のメンバー、そして地域の人との関わっていくうえで自分のレベルを実力を確認できます。役職も、その役を君ならできると思って声をかけてもらっていると思ってましたので、自分のレベルがそこにあり、力を発揮しできるとも思っていたので、役職の依頼は断らなかつた。自分とはとにかく前向きに、否定的なことは言わずやることは心がけました。

## ☆後輩へひとこと

【北川】 自分の経験から、JC 活動は形式と制約がありながら、それを乗り越えて相手を説得したり、動かしたりつねに自分の実力を確認できる人づくりの場だと思います。外部に向かっていく機会もありますし、内部（府中市）で深く関わることで組織を学べることもできます。経験を積むことで人のために厳しいことも言えるスキルを身に付けることもできます。とにかくこの場を活かして自分に自信をもって過ごしていただきたいと思う。JC の目標を理事長もですが、特に監事に置くといいと思います、監事というのは、皆に自信を持って苦言やアドバイスを言える存在です、要するにそれなりに JC での信頼や実績を積み重ねる事が



必要ですから、いわば、北川浩一郎を目指せ！ということですね（笑）

## ☆さいごに。卒業を迎えられひとこと

【北川】 JC 活動に関しては自分にできることはすべて出し切ったと思う。心残りはないです。

府中 JC 活動でマイナスなことはしていないと思うし、自信をもっているし、これからいろんなところで力を発揮できると思っています。この力をつけさせていただいた、多くの先輩方や、力をかしてくれた後輩たちにとっても感謝しています。

12 年間ありがとうございました。







# 森山 直洋

第 52 代 理事長

2007 年 8 月 入会

インタビュアー：副理事長 井上達也

## ☆JC 在籍中の印象に残っている事業は何ですか？

【森山】 いくつかありますが、2011 年に東日本大震災での復興支援活動は印象に残っています。青年会議所の活動は事業計画書が理事会で審議可決されたのちに実行しますが、この時は災害復興支援ということで事業計画も予算もない中手探りで活動でした。ただ、メンバー全員が一致団結して売却できる資源を集め、換金して東北に送ったのですが、はじめて青年会議所メンバーの底力を見た気がしました。

また、おなじ 2011 年に府中で開催されたブロック大会も大変印象に残っています。懇親会のアトラクションで自分がアフリカのミュージシャンを呼んだのですが、結局そのことがあの大きな惨事を招いたという。。。 (藤本君ごめんなさい)

お酒が空中を飛び交う懇親会もすごかったですが、アフリカのミュージシャンたちがテンションが上がっちゃって「今日は妻を抱きたいから帰る」といってホテルをキャンセルして新幹線で帰っていったのも衝撃でした。異文化に触れた瞬間でした。

## ☆数々の役を受けた中で心に残っている役職は何ですか？

【森山】 やっぱりセクレタリーかな。一回目も二回目もどちらもですね。会議を全部見れるっていうのが一番良かったです。セクレタリーっていろんな人間のいろんな価値観に触れることができるから視野が広がるし。

【井上】 意外とセクなんですね。理事長とかプロ長っていうかと思いました。

【森山】 井上君の方が一年先にセクレタリーやったから、負けないようにと頑張りました。もちろん理事長、プロ長、専務理事も楽しかったな。色々やらせてもらったけど、どの役も自分の役割をきっちりと理解して、その時その時でできる事をしっかりと考えて取り組んできました。

## ☆今後期待するメンバーは？

【森山】 もちろん現役として残るメンバー全員に期待していますが、特に今年の府中のまつり共創委員会のメンバーには感謝していますし期待もしています。目標通り新入会員を9人入れたのはすごいし、まつりを自分たちの手で作り上げるためにどうすればよいか本気で考えて実行したし、次年度とリンクした担当例会等、素晴らしい委員会運営でした。委員会メンバー全員が真剣に取り組んでいましたし。特に浅野委員長、蛸田副委員長はよく頑張ったと思います。

残念なのは卒業旅行が流れてしまっていることかな。いつも JTB に寄ってパンフレット眺めちゃいます。泣いてなんかないですよ。

## ☆卒業生のみなさんにとっての JC 生活を一言でまとめてください。

【森山】 JC 生活を一言でっていう質問自体が面白くないなあ。

この質問考えたの誰？

【井上】 確かに面白くないですね（笑）。じゃあ質問を変えます。入会してから、卒業まで振り返ってみてどうでしたか。

【森山】 入会してから卒業まで、色々な機会にチャレンジしてきましたが自分が行動する時に考えていたのは「やるかやらないかの時はやる方を取る」「どうせやるなら良い物をする」、この2つだけでした。

あと、「ダサいことはしたくない」というのも自分のポリシーでした。文句を言うのも誰でもできるけど、自分がやらずに文句をいうのはダサいと思ってどんな役にもチャレンジしてきました。結果やってみて本質がわかったり、広い視野を持つことができたと思ってますし、批判ではなく提案をする癖もついたと思います。

【井上】 8 年半 JC をやってきて一番影響を受けた人は誰ですか？

【森山】 まずは友安先輩。お酒の飲み方、夜の街のルール、しきたりを教えていただきました。井上君はいつもルールを破っていましたが、冗談はさておき、友安先輩からは細やかな気遣いを教えていただきました。仮入会員と卒業生という関係で半年しか一緒にいませんでしたが、JC メンバーの中だけでなく、仕事でも、夜の街でも相手を気遣う姿、そしてはしゃぐときには目一杯はしゃぐ姿、勉強になりました。今でもその教えを実践しています。



あと13年に日本のグローバルリーダー育成委員会に出向した時の別所委員長ですね。本年度大阪青年会議所の理事長です。相手に何かを伝えるのはもちろん、相手をどういう気持ちにさせて、どう行動してもらいたいのか、そこまでしっかりと考えて話をするのでとても影響を受けました。JCっぽくないというか、かしまった感じは全然ないんだけど、良い話をするんです。人を惹きつけるんですよね。彼の委員会での委員長挨拶はいつもメモ取っていました。

### ☆最後に現役メンバーにメッセージを



【森山】 JC でいろんなことを経験させていただきましたが、いつも「あれを言えば良かった」「もっとこうすれば良かった」など思っています。いつも悔しい思いをしていました。今でもです。ただ、この悔しい気持ちがあることで、次の機会にはもっと良くしようという思いにつながると思います。みなさんも強がらずに、悔しがってほしいと思います。

僕はこれで卒業しますが JC で学んだことを活かしてこの社会がよりよくなるためにこれからも真面目に・誠実に・正義感をもって生きていきます。

みなさんさようなら。